

図書館は、どこに あればいいでしょう。

図書館は、幼児、小学生、中学生、主婦、高齢者、勤め帰りの人、高校生、大学生も利用します。

市街地の、駅から近いところに。なるだけならば、公園の近くに。もちろん、駐車場も必要です。

12月議会には、3616名の住民による図書館建設の請願が提出されました。

そして、町長も、図書館を建設すると表明しています。ではどんな図書館になればいいのか、町の偉い人だけでなく図書館を利用する人達もいっしょに場所の選定から、考えていくべきです。

図書館建設の準備会に、請願を提出した人も加わっていけるよう、図書館の建設に関わる委員の公募を町に要望します。



老人福祉計画は???

◇特別養護老人ホーム「嵐山苑」が4月に越畑に開設予定で建築中です。

そこに嵐山町がデイケアセンターを委託します。

1日15人、一人で週3日まで利用できます。

「嵐山苑」にはショートステイ（急に家庭の理由で介護を要する高齢者が短期間利用できる施設）が6ベッド用意されています。

老人給食の配食サービスは、介護食を含めて週3日まで利用できるよう町は嵐山苑に委託予定。

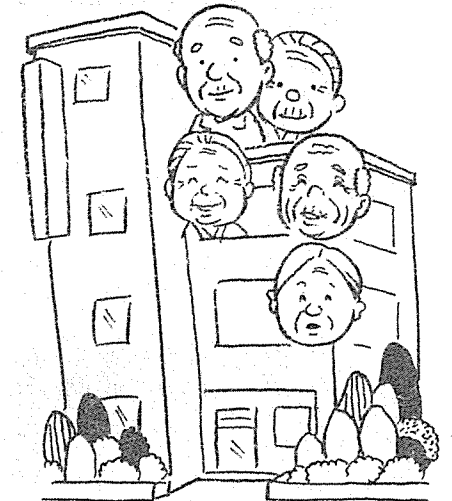
◇嵐山病院には老人保健福祉施設が併設される予定。

◇杉山に建設中の健康増進センターでは機能回復訓練が行われます。

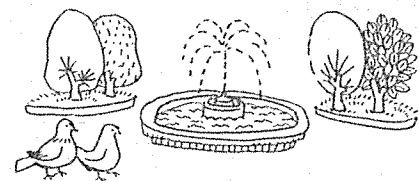
老人福祉センターが 建設される予定です。

どこにどんな施設をつくるのかは未定です。

核家族で、日常的にお年寄りと接していない子供が多くなっています、子供と高齢者が接近できるような総合的な施設が必要では。



これから5年間の 嵐山町事業計画



	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
インターチェンジ建設	760万	2億4160万	8460万		
新役場庁舎への接続道路			3300万	4200万	3800万
橋上駅舎の建設					2000万
区画整理事業	2億1130万	2億1120万	1億7390万	1億4830万	1億4100万
公共下水道	2億2750万	2億1000万	2億2000万	1億9000万	2億2850万
農業集落排水事業		300万	1000万	2600万	3000万
嵐山分署用地取得（消防）			2820万	2820万	2820万
老人福祉センター		500万	1630万	1億2000万	
高齢者保健福祉計画の推進	1510万	1650万	1820万	2000万	2200万
水田営農活性化排水対策事業	1010万	3260万	3590万	2250万	
農産物直売所建設		1300万			
義務教育施設整備（学校整備）	8000万	4000万	6500万	1500万	1500万
図書館建設		4800万	1億5700万		
町民会館建設				2000万	3億3380万

平成7年12月作成の嵐山町一般会計財政計画より主な事業を抜粋